



水田・里山放牧ニュースレター

第 3 号

2003 年 12 月 25 日

発行 水田・里山放牧推進協議会

事務局 畜産草地研究所（那須）

〒 329-2793 那須郡西那須野町千本松 768

TEL 0287-37-7003 FAX 0287-37-7132

大田原市琵琶池中村牧場の水田放牧

第3回水田・里山放牧推進協議会開かれる

12 月 10 日に西那須野町の畜産草地研究所（GG ホール）で第 3 回水田・里山放牧推進協議会が開かれました。畜産草地研究所の落合飼料資源研究官から「水田・里山放牧導入にあたって」というテーマで水田・里山放牧の意義と放牧導入にあたっての留意事項が話されました。引き続き、（株）北原電牧の中原さんおよび（株）ガラガーエイジの清水さんより両社の推す最新型の牧柵システムについて紹介がありました。今回は午前中同じ場所で那須地域放牧利用研究会の設立総会が開かれたのでそれに参加した農家の参加が多く、参加者は 60 名を超えました。

大変な盛り上がりの山口型放牧シンポジウム

12 月 19 日、山口市で中国四国農政局、中央畜産会が主催する山口型放牧シンポジウムが開催されました。シンポジウムに先立ち山口型放牧研究会が設立されました。参加者数は約 200 名、そのうち約半数が農家という大変な盛り上がりでした。シンポジウムに先立ち山口型放牧研究会の設立総会があり、山口県油谷町で早くから水田放牧に取り組まれてきた元永さんが会長に選出されました。



シンポジウムは近畿中四国農研センターの高橋佳孝さんによる記念講演「地域資源を活かした肉用牛放牧のすすめ」、県や市町村における耕作放棄地・水田跡放牧の取組みの事例紹介があり、引き続きパネルディスカッションが行われました。地域活性化、農地保全の省力化、景観の向上、飼養管理の省力化など放牧による効果が多く報告されるとともに、牛の馴致法、脱柵をいかに防ぐか、草地の牧養力をいかに維持し高めるか、地域住民の理解など、今後さらに解決・改善が必要なことも指摘されました。

那須地域放牧利用研究会発足！

12 月 10 日、那須地域放牧利用研究会の設立総会が、草地研究センター GG ホールで行われ、17 名の肉牛農家、酪農家が集まりました。清水畜産草地研究所副所長の祝辞、研究会規約の承認、役員を選任などが行われ、会長に那須町の相馬和至さんが選ばれ、事務局は栃木県那須農業振興事務所の畜産課が担当することとなりました。各参加者からは、放牧をうまく利用して省力化やコスト低減、また糞尿処理の軽減に役立てたいという希望が表明されました。この会への参加希望者は 30 名以上が予定されています。

水田・里山放牧導入にあたって

畜産草地研究所 飼料資源研究官 落合一彦

1. 放牧導入3原則

牛と草地を美しく - 裸地、ぬかるみを作らない -

狭い草地に多すぎる牛を出さない。雨が多く草地が傷みそうな時は放牧を控える。毎日通る通路は砂利や火山灰を入れて泥濘化対策をしっかりとる。草地と牛を美しく保つことが放牧をする人、周りの人の気持ちを良くする。

牛も人も徐々に放牧に慣れること

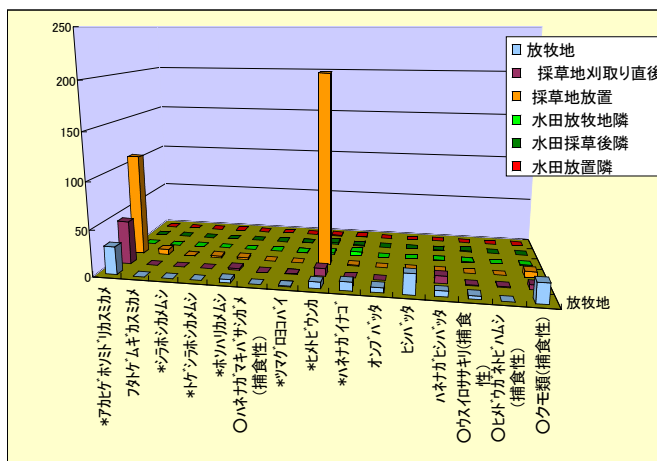
牛は本来、餌を探して草を食う能力、電気牧柵を認識して近寄らない能力を持っている。牛の能力を信頼して気長にやること。放牧は奥が深いので人も毎年経験を積むことで自分の放牧方法が少しずつレベルアップする。

無理をしないで家族（奥さん）と地域の理解を得ながら進める

田んぼに牛を出すこと、屋外に牛が居ることはこれまでにない新しいことなので、時間をかけて、ねばり強く地域の理解を得るようにする。美しい放牧をしていれば必ず理解が得られる。奥さんの理解を得ることが最優先。

2. 田んぼに放牧するとカメムシなどの稲の害虫は増えないの？

刈り取りをしないで草を伸ばしたままにするとカメムシやウンカが増える。放牧地もカメムシ類は少しはいるが、カメムシやウンカなどを食べてくれるクモ類やササキリなど補食性の虫、特にイネに害がないバッタ類など、いろいろな虫が増え、生態系が豊かになる。



水田放牧地や採草地の虫の密度（畜草研 害虫研）

3. どのくらいの面積で、何頭くらい飼えるの？

30a ~ 60a の土地があれば2頭の牛を4月中旬 ~ 10月いっぱい、180 ~ 200日くらい放牧できる。放牧地の草の状態によって牧養力は大きく変わる。

4. 牛の移動方法は？

2 ~ 300m 位ならポリワイヤーを張って誘導路を作って追う（電牧に慣れた牛）。

1 km 位なら人がひいていくの也可。

それ以上になると運搬車が必要。作ってもらって 60-70 万くらいか。共同購入・利用を。

5. どんな草種を使うといいの？

傾斜地：シバ、センチピード、ケンタッキーブルーグラス

緩傾斜または平地：オーチャードグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラス

乳牛用にはペレニアルライグラスがおすすめ。追播で簡単に草地化が可能。

寒地型草種の方が牧養力はある。シバやセンチピードはできてしまえば管理が楽。はじめはぬかる田んぼでも放牧を続けるとだんだん乾いてきて、いい草地になる。

新しい電気牧柵の支柱「キタハラ ハイプラポスト」の提案 (株)北原電牧 中原和博

1. 循環型 - 廃プラスチックを利用

低コスト化、ゴミ減量に寄与

2. コスト

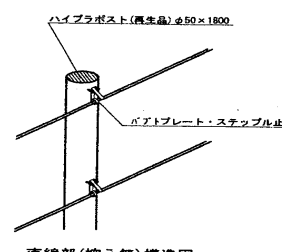
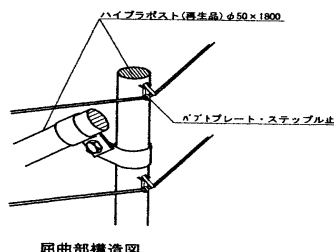
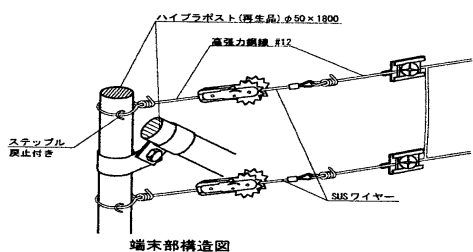
1 ha 正方形の土地を 2 段張り、出入口 1 カ所、平坦か緩傾斜地の場合：資材費（電牧ユニット除く）140,000 円、350 円/m

3. 今後の課題

コストを抑えながら強度・耐久性を上げる。
より扱いやすい組み立て付属品の開発。



高張力電牧柵(プラスチックエコポスト)構造図 S=1/30



水田・里山放牧地に適した低コスト簡易電気牧柵 (株)ガラガーエイジ 清水 亨

1. 簡易インサルティンバー牧柵の特徴

簡易インサルティンバー牧柵（写真：伊藤牧場）

施工が簡単、人力で可能

インサルティンバー（絶縁木）を使うので漏電の可能性が低い

従来より細い 1.6mm 高張力鋼線を使うので施工が楽で低コストだが、脱柵防止性能が高い

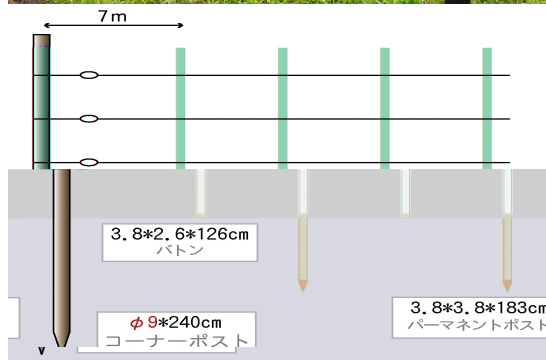
2. コスト

2 ha の長方形の土地を 3 段張り、ゲート 1 カ所、平坦か緩傾斜地の場合：

資材費（電牧ユニット除く）180,000 円、300 円/m

3. 今後の課題

さらなるコストダウン。牛の種類（子牛、育成牛、親牛）に合わせた仕様の策定



会員募集中! 会費無料、情報交換会へのご案内及びニュースレターが送付されます。

参加者からの報告

[関東農政局生産経営流通部畜産課]

耕畜連携推進対策事業についての説明。耕種農家と畜産農家の連携による水田を活用した飼料生産の拡大を図るため、圃場の団地化、稲発酵粗飼料やわら専用稲の生産、水田放牧や資源循環の取組を支援することを趣旨とする。水田放牧関連を中心として、助成をうける対象者と取組内容についての要件、具体的内容、助成対象年度、助成額について説明が行われた。

[福島県県北農林事務所安達農業普及所]

福島県安達郡白沢村で2003年12月3日に開催された「遊休農地における放牧技術研修会」の報告。研修者は白沢村で遊休農地（桑園）を放牧利用している農家及び新たに桑園放牧を希望している農家。県畜産試験場から現地試験地での桑園放牧、水田放牧についての説明や桑園を抜根無しで放牧地化する方法などの説明を受けた。また、白沢村では、遊休農地が453.5 ha 有ること、遊休農地の放牧利用は9戸9haでほとんどが桑園を利用していることが紹介された。

[相馬牧場(和牛繁殖農家)] [日本草地畜産種子協会飼料作物研究所]

栃木県那須町の相馬牧場（和牛繁殖農家）で実施されているペレニアルライグラス、オーチャードグラスを主体とした水田放牧試験の説明。試験は日本草地畜産種子協会飼料作物研究所の協力を得て実施。45 aの草地に黒毛和種育成牛を2-4頭放牧し、放牧草地の状態は良好に保たれた旨の報告があった。

[畜産草地研究所山地畜産研究部]

現在、長野県で実施されている、耕作放棄地を利用した小規模移動放牧の紹介。繁殖牛の親子放牧を行い、夏に野草地等を放牧利用地として利用することで放牧期間の長期化、最終的には周年放牧を目指す。また分散放牧地間で牛を移動させるため開発した運搬車両について報告。

[埼玉県秩父高原牧場]

秩父地域での里山放牧の支援センターの役割を担い、実証試験、17年度以降の事業化等の計画が有ることを紹介。また、耕作放棄地を放牧利用するための地域での理解を得ることが難しいことを指摘。

その他、事務局からHP及びメーリングリストを完成したことの連絡と利用のお願いがあった。

水田・里山放牧推進協議会のホームページ、メーリングリストができました！

これまでのニュースレターが見れます。

メーリングリストに入ると参加者同士の情報交換ができます。

ホームページのアドレス：<http://houboku.ac.affrc.go.jp/>

メーリングリストへの参加方法：furukawa@affrc.go.jp 古川までメールをお送り下さい。

連絡先：栃木県那須郡西那須野町千本松 768 畜産草地研究所 研究交流調整官

TEL 0287-37-7003 e-mail:furukawa@affrc.go.jp

ニュースレターの内容を転載する場合は事務局の許可を得て下さい。